

2018年3月期 第3四半期決算説明会資料

株式会社島津製作所

取締役専務執行役員 古澤宏二

第3四半期決算ハイライト



過去最高更新 (4月-12月)

売上高・営業利益・経常利益・純利益の全ての項目で過去最高を更新

計測・産機牽引 (10月-12月)

計測機器は12%増(除為替9%増)、また産業機器は24%増(除為替22%増)で高い成長を達成

収益性向上 (10月-12月)

営業利益率は全体で2.4ポイント改善し10.6%に向上。第2四半期(7-9月)に続いて、第3四半期(10-12月)も二桁%の営業利益率を確保

損益計算書

単位：億円，除く営業利益率，EPS	10月-12月		前年同期比増減		
	2018.3期	2017.3期	円ベース		除く為替影響 率
			額	率	
売上高	913	816	97	11.9%	9.2%
営業利益	97	67	30	44.6%	22.1%
営業利益率	10.6%	8.2%	2.4p ^o 向上改善		
経常利益	100	80	21	25.7%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	67	55	12	22.0%	
EPS	¥22.82	¥18.70	¥4.12	22.0%	
期中平均為替レート	US\$	¥113.03	¥109.37	¥3.66	3.4%
	€	¥133.07	¥117.83	¥15.24	12.9%
為替影響額					
売上高	22		研究開発費	設備投資額	減価償却費
営業利益	15		39億円	35億円	27億円

※営業利益の「為替影響額」「除く為替影響」には，たな卸資産未実現利益の消去額を含む。

※＜為替感応度＞US\$：売上高 12億円・営業利益 4億円，€：売上高 2億円・営業利益 0.7億円

利益増減要因(10月-12月)

単位：億円

140

120

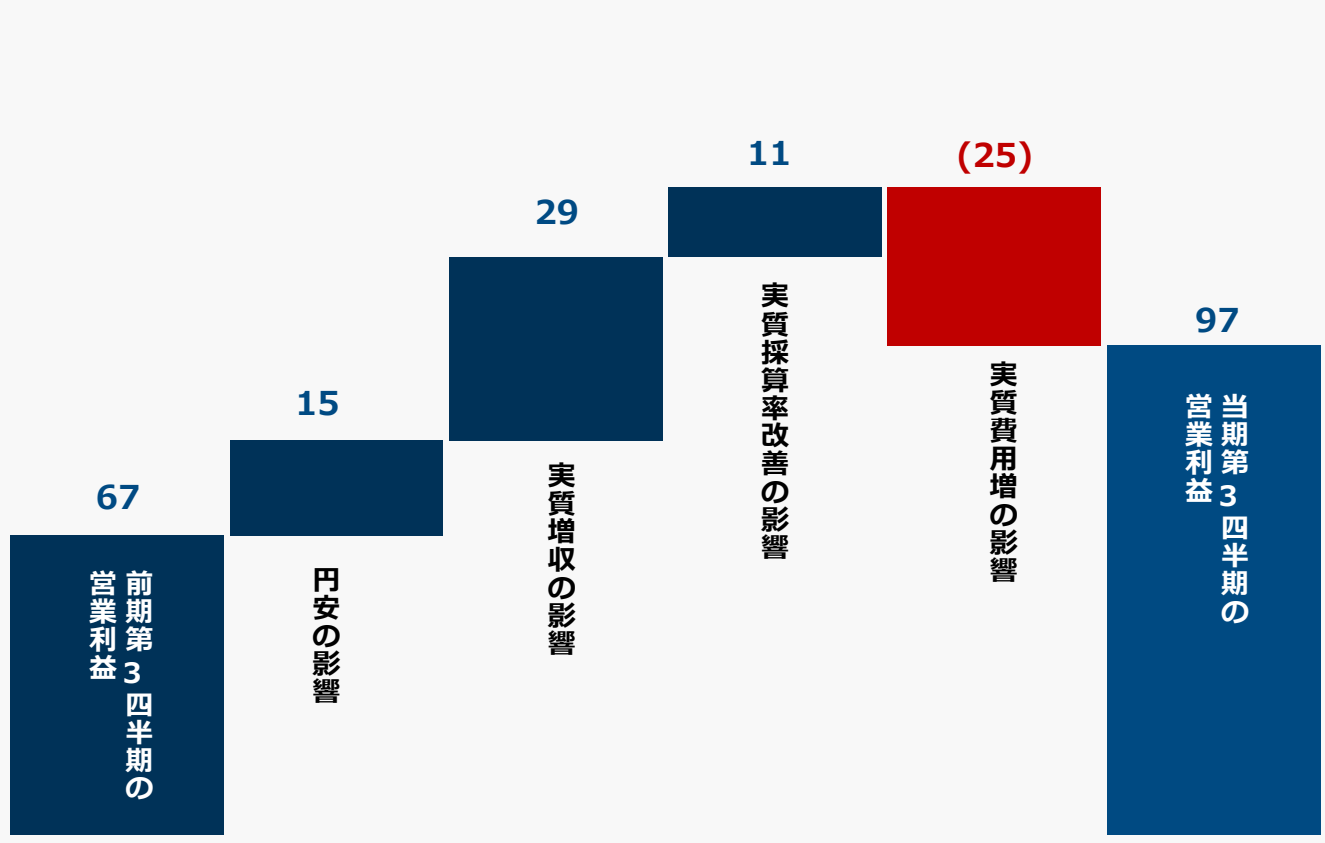
100

80

60

40

20



事業セグメント別損益

単位：億円		10月-12月				前年同期比増減			
		2018.3期		2017.3期		円ベース		除く為替影響	
計測機器	売上高	568	OPM	507	OPM	61	12.0%	OPM	8.8%
	営業利益	86	15.1%	66	13.0%	20	30.6%	2.1pt 改善	12.7%
医用機器	売上高	149	OPM	139	OPM	9	6.7%	OPM	4.4%
	営業損益	0	0.1%	(6)	-4.6%	6	—	4.7 pt改善	—
航空機器	売上高	62	OPM	61	OPM	1	1.1%	OPM	0.1%
	営業利益	1	1.2%	3	4.6%	(2)	-72.3%	3.4pt 悪化	-79.5%
産業機器	売上高	120	OPM	96	OPM	24	24.4%	OPM	22.3%
	営業利益	11	9.0%	7	7.5%	4	66.4%	1.5pt 改善	28.3%
その他	売上高	14	OPM	11	OPM	2	21.4%	OPM	21.4%
	営業利益	4	26.7%	2	13.6%	2	x 2.4	13.1pt 改善	x 2.4
営業利益調整額		(4)	—	(4)	—	(0)	—	—	—
合計	売上高	913	OPM	816	OPM	97	11.9%	OPM	9.2%
	営業利益	97	10.6%	67	8.2%	30	44.6%	2.4pt 改善	22.1%

※営業利益の「為替影響額」「除く為替影響」には、たな卸資産未実現利益の消去額を含む。

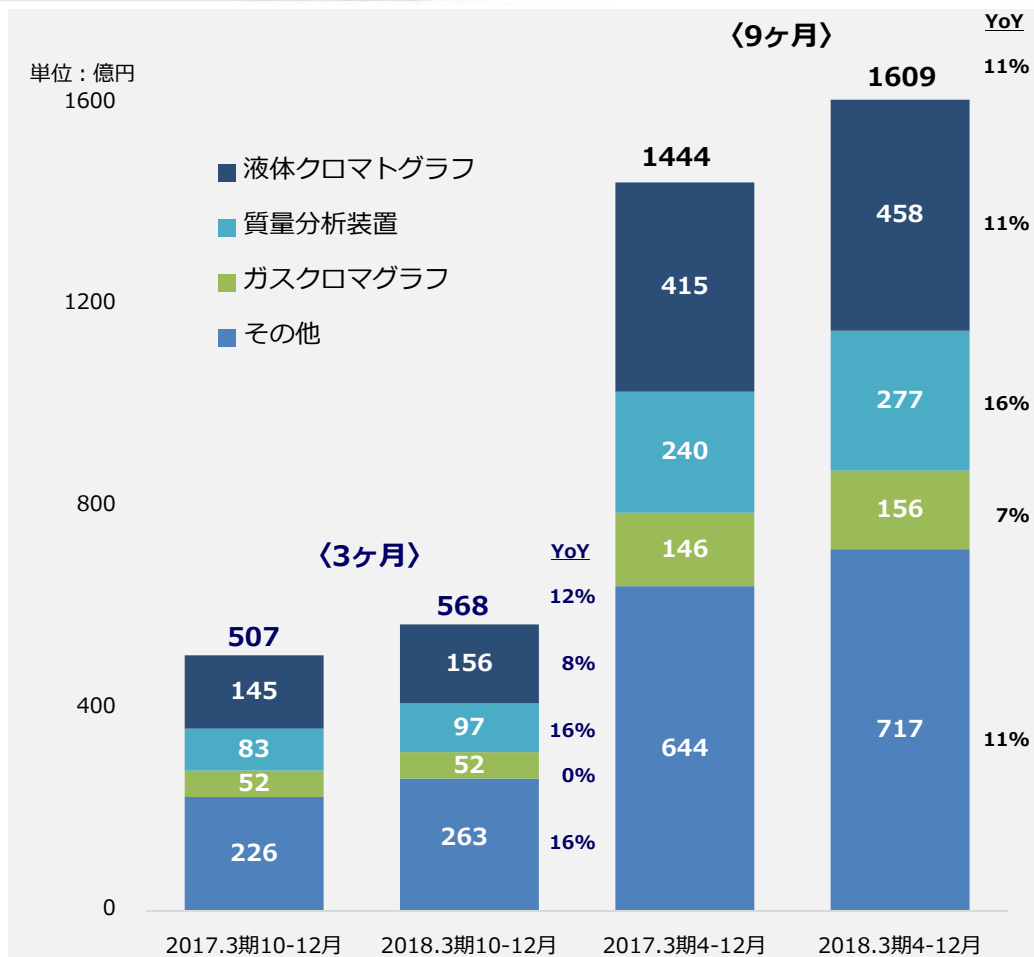
地域別売上高

単位：億円	10月-12月		前年同比増減		
	2018.3期	2017.3期	円ベース		除く為替影響
日本	417	376	42	11.1%	11.0%
米州	119	106	14	12.8%	8.7%
北米	107	93	13	14.1%	9.8%
欧州	74	64	10	14.9%	3.0%
中国	192	156	36	23.2%	19.2%
その他のアジア	84	91	(7)	-7.8%	-10.6%
その他*	26	23	3	13.7%	8.6%
合計	913	816	97	11.9%	9.2%
海外売上高	495	440	55	12.6%	7.6%
海外売上高比率	54%	54%			

* 「その他」：オーストラリア・中近東・アフリカ

計測機器 1/3 [サブセグメント売上高]

- » **+12%**: **[10月-12月売上高]**
 質量分析装置や環境計測機器などが牽引し拡大、
 上期の11%増収を更に上回り高い成長が持続
- » **+16%**: **[質量分析装置]**
 戦略製品の質量分析装置は、食品安全や環境分野
 を中心に、日・米・中で大きく伸長
- » **+16%**: **[その他]**
 環境分析装置やICP-MSを中心に拡大
- » **28%**: **[アフターマーケット比率]**
 比率は1ポイント減少したものの、アフターマッケーッ
 ト事業は8%拡大



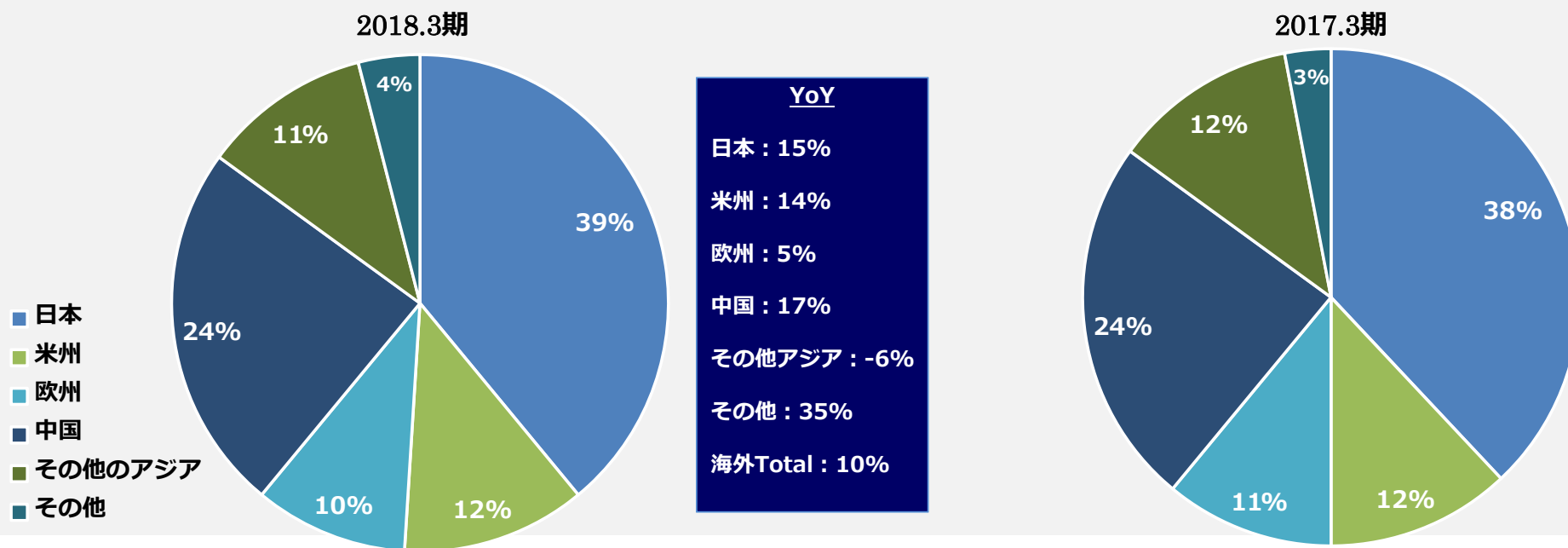
計測機器 2/3 [地域別売上高]

» 海外比率 61%

10月-12月、内外で二桁%で増加、海外比率は61%

景気回復が進む日本・北米、また環境・食品安全等での需要が拡大する中国が大きく伸長

〈10月-12月 計測機器地域別売上構成〉

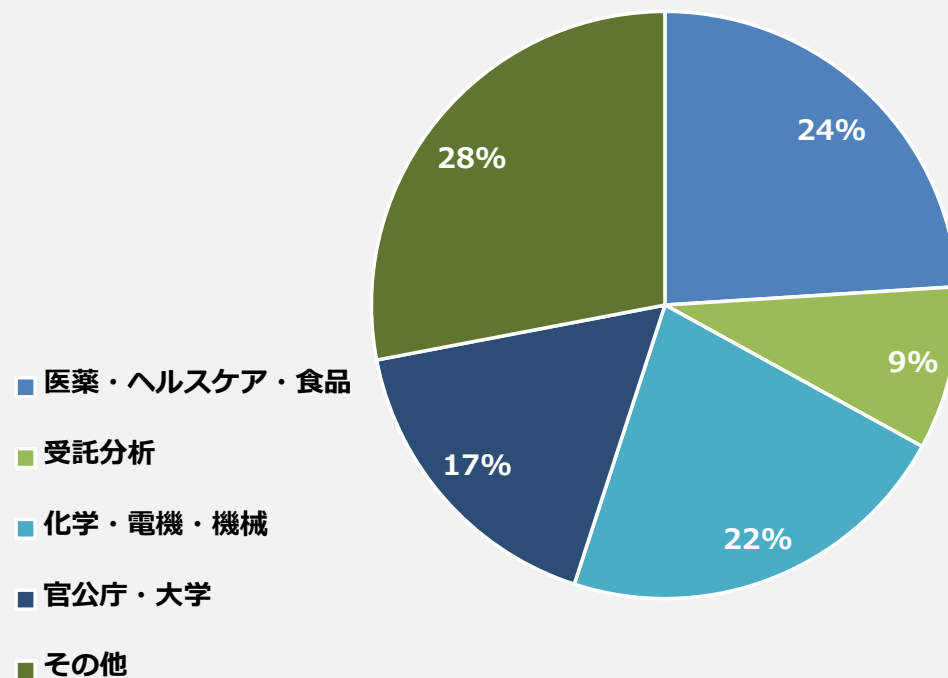


計測機器 3/3 [エンドマーケット情報]

- * 医薬・環境など受託分析が中国を中心に拡大
- * 分野別構成に大きな変動はない
- * 医薬・ヘルスケアから電機・機械の民需、
また官公庁・大学とバランスのよい顧客分野を構成



〈4月-12月 計測機器分野別売上構成〉



医用機器 1/2 [サブセグメント売上高]

» **+7%:** **[10月-12月売上高]**
血管撮影及びX線TVが牽引し拡大、上期の4%増収から7%増収に加速

» **+33%:** **[血管撮影システム]**
戦略製品の血管撮影システムが、新製品や販売・サービスの強化により大きく伸長

» **31%** **[アフターマーケット比率]**
30%超の比率を確保したものの、高額な血管撮影システムの拡大などでアフターマーケット比率は減少

主力製品・サービス



Trinias C12/F12
血管撮影システム



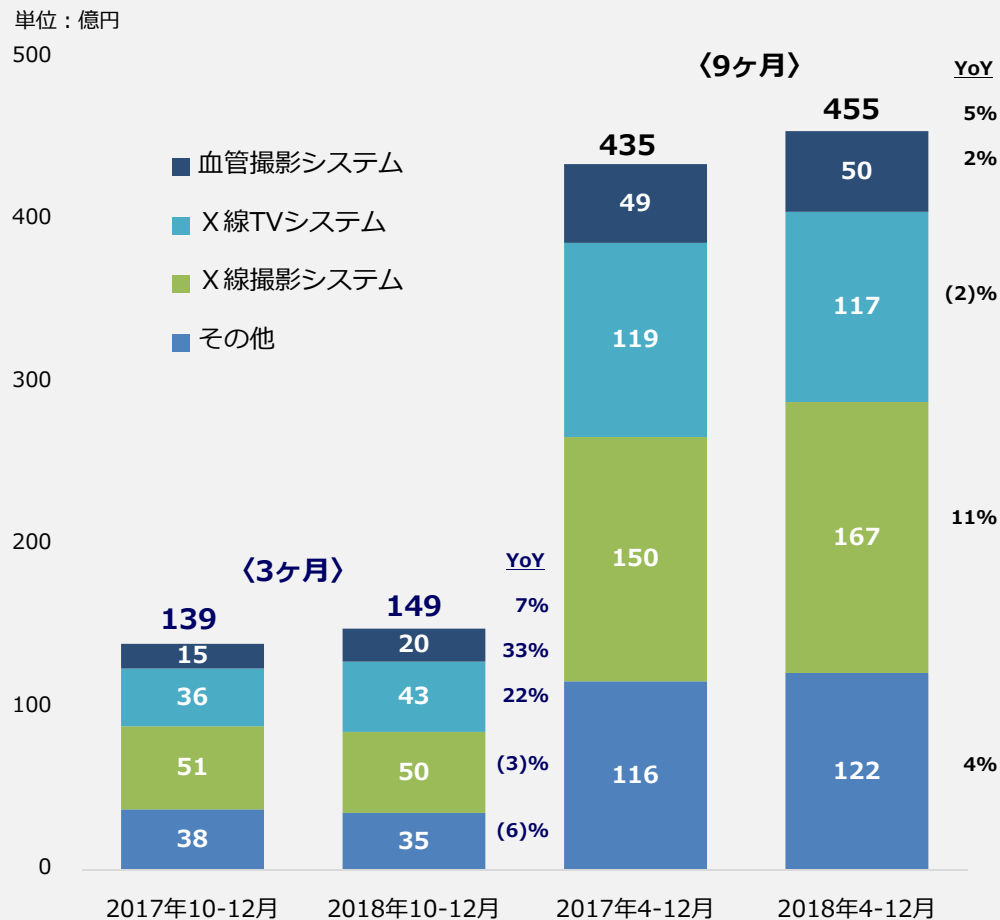
SONIALVISION G4
X線テレビシステム



Mobile DaRt Evolution
回診用X線撮影装置



マンモPETシステム

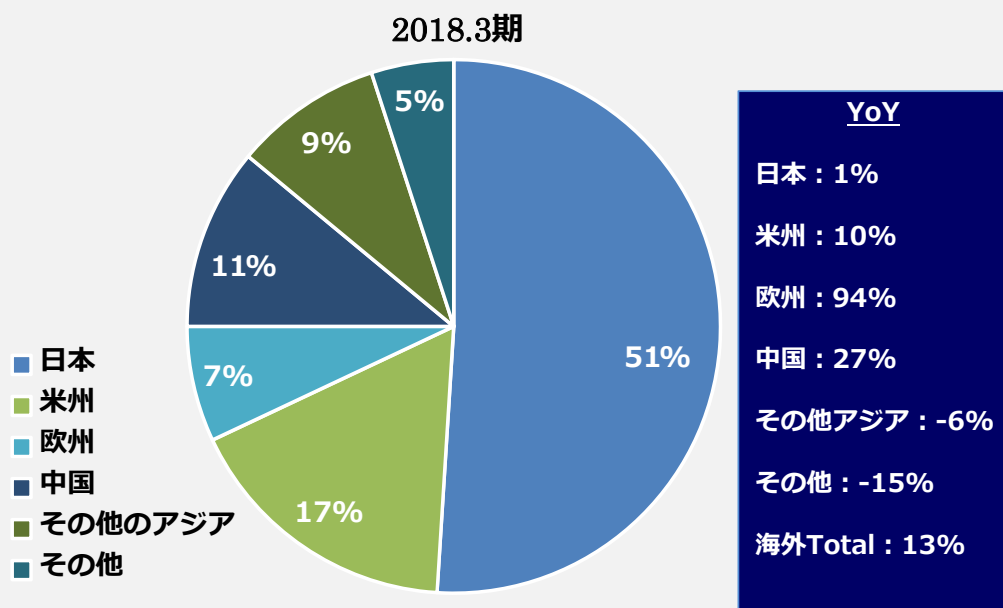


医用機器 2/2 [地域別売上高]

» 海外比率 49%

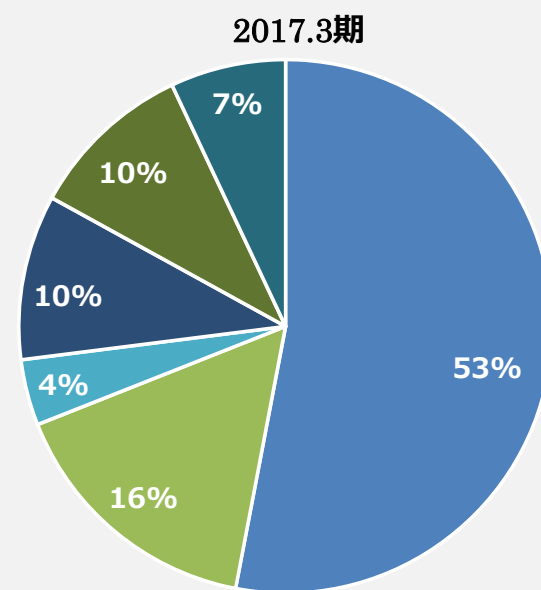
10月-12月、海外が二桁%増で牽引、海外比率は前年同期比2ポイント拡大し49%に向上
 ハイエンド製品を中心に、北米・欧州・中国で拡大

〈10月-12月 医用機器地域別売上構成〉



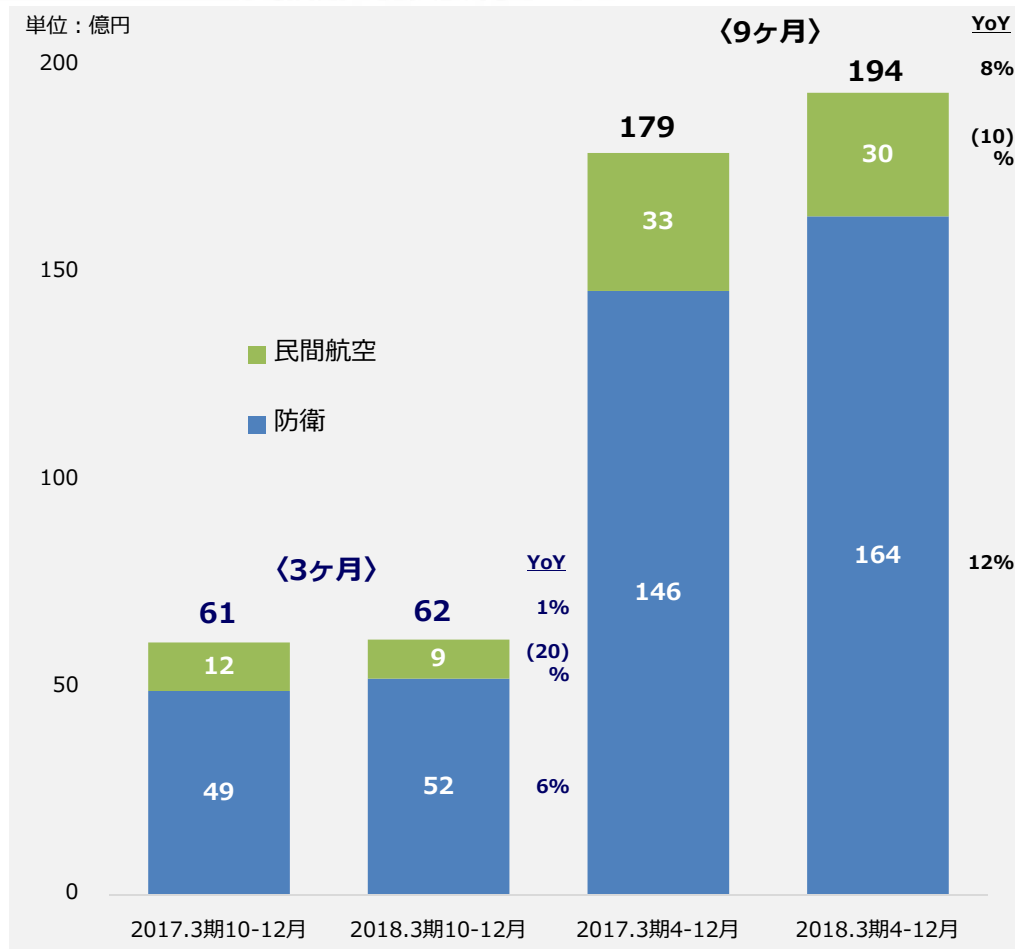
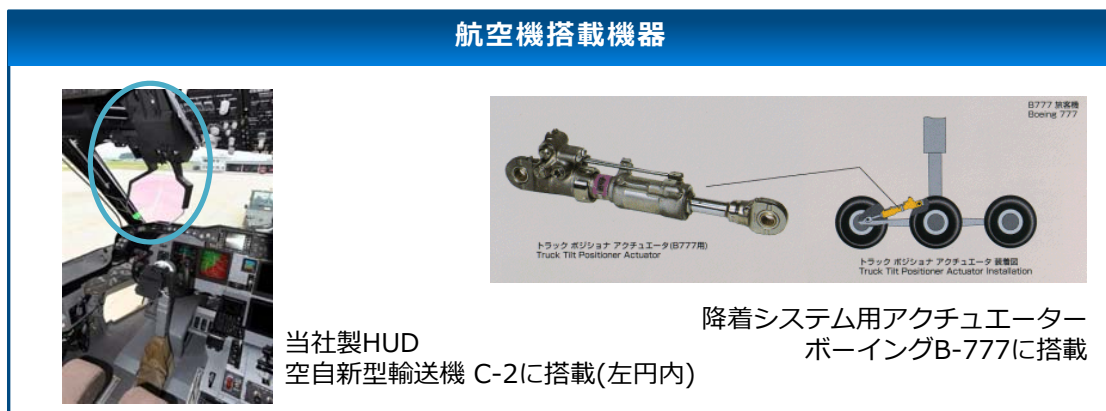
YoY

日本	: 1%
米州	: 10%
欧州	: 94%
中国	: 27%
その他アジア	: -6%
その他	: -15%
海外Total	: 13%



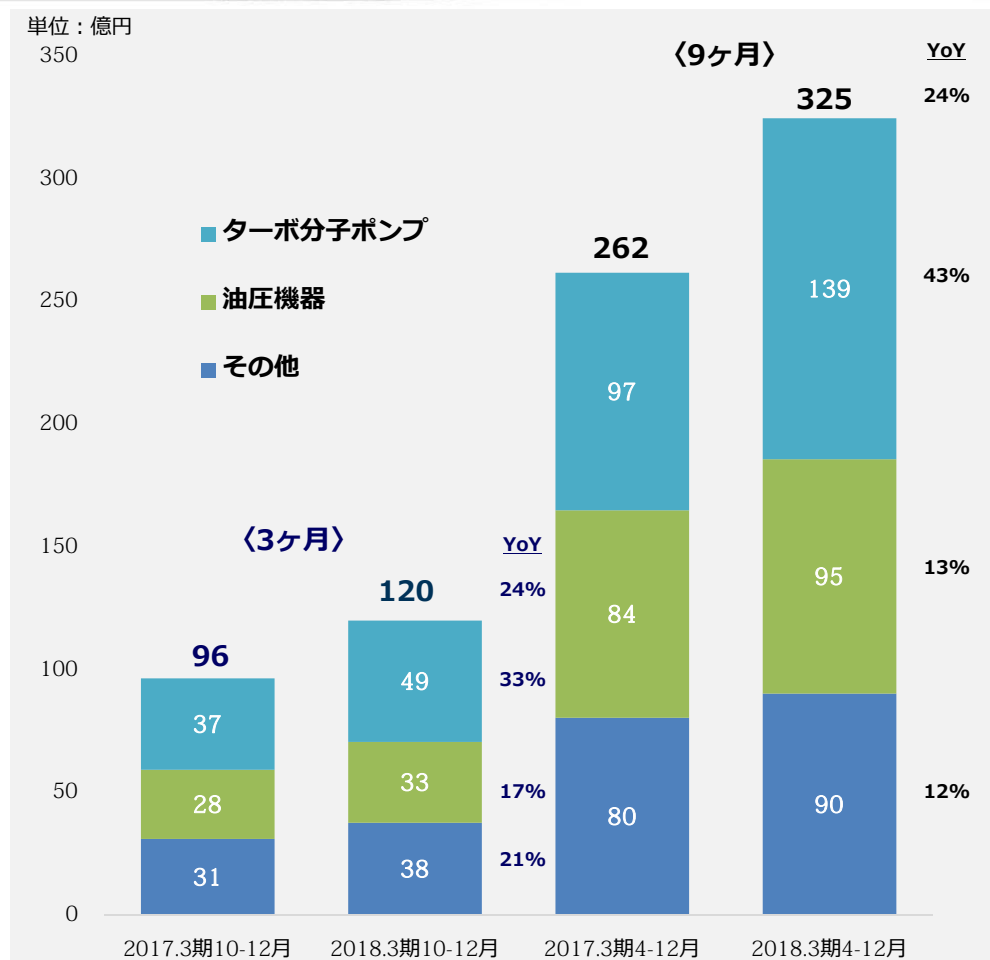
航空機器 [サブセグメント売上高]

- » **+1%:** **[10月-12月売上高]**
 ボーイングでの一時的な減産の影響で微増
- » **+6%:** **[防衛事業]**
 新型輸送機(C-2)用搭載機器などが堅調に推移
- » **-20%:** **[民間航空事業]**
 B-777など大型旅客機の一時的な減産が影響し減少



産業機器 1/2 [サブセグメント売上高]

- 》 +24%:** **[10月-12月売上高]**
 ターボ分子ポンプが牽引、油圧機器・その他も二桁パーセントで拡大
- 》 +33%:** **[ターボ分子ポンプ]**
 好況な半導体製造分野等へ安定して供給、大幅な伸びが持続
- 》 +17%:** **[油圧機器]**
 フォークリフトや建機などに向け好調に推移

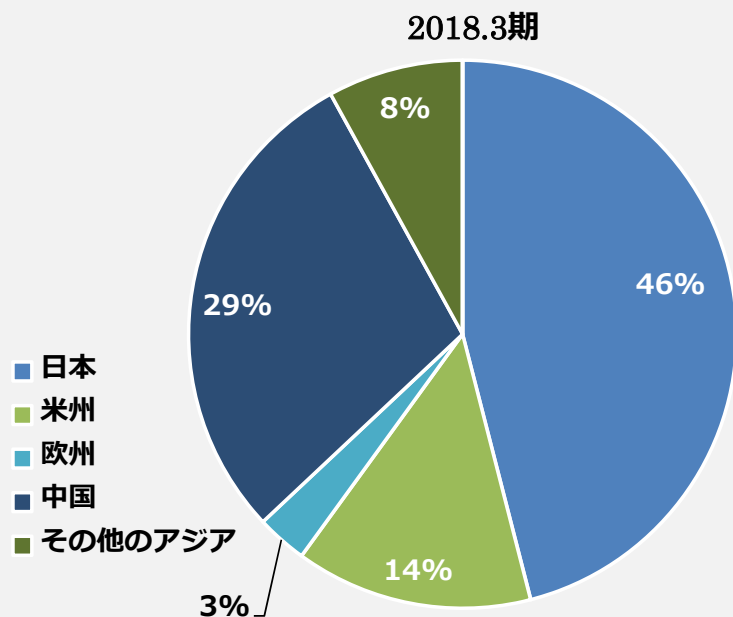


産業機器 2/2 [地域別売上高]

» 海外比率 54%

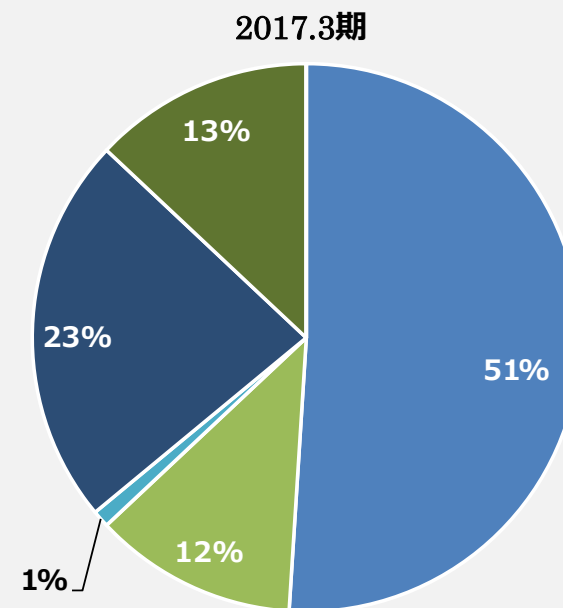
10月-12月も、上期に続き、内外で二桁%増収。海外比率は54%に向上
 10月-12月は、特に北米・中国の半導体分野を中心に高い伸びを達成

〈10月-12月 産業機器地域別売上構成〉









YoY

日本	13%
米州	32%
欧州	x3
中国	55%
その他アジア	-21%
その他	x4
海外Total	36%



事業環境見通し

 <p>日本 1.2%(+0.5pt)</p>	<p>新素材・高容量電池また生産性向上などの企業の旺盛な研究開発、老朽化設備の更新等社会インフラの補強など、官民での需要拡大が見込まれる 〈リスク〉 東アジア情勢の緊迫</p>
 <p>米国 2.7%(+0.4pt)</p>	<p>バイオテクノロジー・ヘルスケアなど最先端分野での研究開発の加速、法人税減税による企業設備投資の加速が見込まれる 〈リスク〉 保護主義的政策の推進、ドル安誘導</p>
 <p>ユーロ圏 2.2%(+0.3pt)</p>	<p>ドイツ・イタリア・オランダを中心にした内需の拡大、またロシア経済の回復も見込まれる。ヘルスケア・環境・食品安全、またエネルギー等での需要拡大が予想される 〈リスク〉 中東情勢緊迫の余波</p>
 <p>中国 6.5%(不変)</p>	<p>第13次五カ年計画が本格的に始動、安心安全な社会に向けた環境など規制に関する投資、大学の高度化を目指した研究の拡充、製薬・CROの民需拡大等、旺盛な需要が見込まれる 〈リスク〉 債務超過問題、政策変更</p>
 <p>ASEAN 5.3% (+0.1pt)</p>  <p>インド 7.4%(不変)</p>	<p>東南アジア各国政府による医療福祉等の公共投資、また外資企業による電機・自動車等の設備増強等の投資が見込まれる 〈リスク〉 東南アジアでの政治的不安定化</p>

※左欄の各国数字は、2018年1月に公表されたIMFによる2018年GDP成長率修正予想。カッコ内は前回予想との増減。

業績予想

- * 期初公表を修正、「売上高+100億円・営業利益+10億円・経常利益+10億円・純利益+5億円」それぞれ上方修正
- * 5期連続の増収増益を見込む

単位：億円，除く営業利益率，EPS		2018.3期計画	2017.3期	前期比増減				
				円ベース		除く為替影響		
				額	率	額	率	
売上高		3,750	3,425	325	9.5%	285	8.3%	
営業利益		410	371	39	10.5%	26	7.0%	
営業利益率		10.9%	10.8%	0.1ポイント改善				
経常利益		405	370	35	9.3%			
親会社株主に帰属する当期純利益		290	265	25	9.5%			
EPS		¥98.45	¥89.79	¥8.66	9.6%			
期中平均為替レート		US\$	¥110	¥108.43	¥1.57	1.4%		
		€	¥130	¥118.84	¥11.16	9.4%		
為替影響額								
売上高		40				研究開発費	設備投資額	減価償却費
営業利益		13				160億円	170億円	110億円

※ <為替感応度> US\$：売上高 12億円・営業利益 4億円，€：売上高 2億円・営業利益 0.7億円

事業セグメント別業績予想

単位：億円

		2018.3期計画		2017.3期		前期比増減		
		額	営業利益率	額	営業利益率	額	率	
計測機器	売上高	2,320	15.7%	2,092	15.8%	228	10.9%	0.1pt.
	営業利益	365		331		10.4%	悪化	
医用機器	売上高	660	3.2%	644	3.0%	16	2.5%	0.2pt.
	営業利益	21		19		9.3%	改善	
航空機器	売上高	270	1.9%	267	2.9%	3	1.0%	1.0pt.
	営業利益	5		8		-35.5%	悪化	
産業機器	売上高	430	8.4%	362	7.4%	68	18.9%	1.0pt.
	営業利益	36		27		34.8%	改善	
その他	売上高	70	11.4%	60	11.8%	10	17.1%	0.4pt.
	営業利益	8		9		-9.3%	悪化	
営業利益調整額		(25)	—	(22)	—	(3)	—	
合計	売上高	3,750	10.9%	3,425	10.8%	325	9.5%	0.1pt.
	営業利益	410		371		10.5%	改善	

補足資料[セグメント地域別売上高] 1/4：計測機器

単位：億円	10月-12月		前年同期比増減		
	2018.3期	2017.3期	円ベース		除く為替影響
			額	率	率
日本	221	192	29	15.0%	15.0%
米州	70	61	8	13.7%	9.0%
北米	60	52	8	16.3%	11.3%
欧州	59	57	3	4.9%	-6.5%
中国	141	120	20	16.8%	12.8%
その他のアジア	61	64	(4)	-5.5%	-8.3%
その他*	17	13	4	34.6%	28.7%
合計	568	507	61	12.0%	8.8%
海外売上高	348	315	32	10.2%	5.0%

*「その他」：オーストラリア・中近東・アフリカ

補足資料[セグメント地域別売上高] 2/4 : 医用機器

単位：億円	10月-12月		前年同期比増減		
	2018.3期	2017.3期	円ベース		除く為替影響
			額	率	率
日本	75	74	1	1.4%	1.4%
米州	25	23	2	10.0%	6.4%
北米	22	20	3	13.4%	9.7%
欧州	10	5	5	94.6%	74.6%
中国	16	13	3	26.6%	22.4%
その他のアジア	14	14	(1)	-5.5%	-7.8%
その他*	8	10	(2)	-15.4%	-19.5%
合計	149	139	9	6.7%	4.4%
海外売上高	73	65	8	12.7%	7.9%

* 「その他」：オーストラリア・中近東・アフリカ

補足資料[セグメント地域別売上高] 3/4：航空機器

単位：億円	10月-12月		前年同期比増減		
	2018.3期	2017.3期	円ベース		除く為替影響
			額	率	率
日本	52	49	3	6.0%	5.3%
米州	9	10	(2)	-15.3%	-18.1%
北米	9	10	(2)	-15.3%	-18.1%
合計	62	61	1	1.1%	0.1%
海外売上高	9	12	(2)	-19.6%	-22.2%

*「その他」：オーストラリア・中近東・アフリカ

補足資料[セグメント地域別売上高] 4/4 : 産業機器

単位：億円	10月-12月		前年同期比増減		
	2018.3期	2017.3期	円ベース		除く為替影響
			額	率	率
日本	55	49	6	13.1%	13.1%
米州	16	11	5	39.6%	35.6%
北米	15	11	4	32.3%	28.6%
南米	1	0	1	938.7%	894.6%
欧州	4	1	3	219.3%	204.5%
中国	35	22	13	55.3%	51.1%
その他のアジア	10	12	(3)	-21.4%	-25.0%
その他*	0	2	(2)	287.5%	287.5%
合計	120	96	24	24.4%	22.3%
海外売上高	65	48	17	36.0%	31.7%

*「その他」：オーストラリア・中近東・アフリカ

補足資料[4月-12月 9ヶ月累計] 1/6 : 損益計算書

単位：億円，除く営業利益率，EPS	4月-12月		前年同期比増減		
	2018.3期	2017.3期	円ベース		除く為替影響
			額	率	率
売上高	2,633	2,363	270	11.4%	8.6%
営業利益	254	219	35	15.9%	6.5%
営業利益率	9.7%	9.3%	0.4ポイント悪化		
経常利益	257	226	31	13.7%	
親会社株主に帰属する純利益	180	158	22	13.9%	
EPS		¥35.03	(¥35.03)	-100.0%	
期中平均為替レート	US\$	¥111.77	¥106.68	¥5.09	4.8%
	€	¥128.58	¥118.08	¥10.50	8.9%
為替影響額					
売上高	68		研究開発費	設備投資額	減価償却費
営業利益	21		110億円	104億円	79億円

※営業利益の「為替影響額」「除く為替影響」には、たな卸資産未実現利益の消去額を含む。

※＜為替感応度＞US\$：売上高 12億円・営業利益 4億円，€：売上高 2億円・営業利益 0.7億円

補足資料[4月-12月 9ヶ月累計] 2/6：事業セグメント別損益

単位：億円		4月-12月				前年同期比増減				
		2018.3期		2017.3期		円ベース			除く為替影響	
計測機器	売上高	1,609	OPM	1444	OPM	164	11.4%	OPM	116	8.0%
	営業利益	229	14.3%	207	14.4%	22	10.6%	0.1pt 悪化	7	3.4%
医用機器	売上高	455	OPM	435	OPM	20	4.7%	OPM	10	2.3%
	営業利益	7	1.5%	(1)	-0.3%	8	27.0%	1.8pt 改善	4	—
航空機器	売上高	194	OPM	179	OPM	15	8.1%	OPM	12	6.5%
	営業利益	(2)	-0.8%	2	1.4%	(4)	—	2.2pt 悪化	(5)	—
産業機器	売上高	325	OPM	262	OPM	63	24.0%	OPM	56	21.6%
	営業利益	29	9.0%	18	7.0%	11	66.4%	2.0pt 改善	9	48.8%
その他	売上高	51	OPM	43	OPM	8	19.0%	OPM	8	19.0%
	営業利益	5	7.8%	5	9.2%	(0)	-1.0%	1.4pt 悪化	(0)	-1.0%
営業利益調整額		(15)	—	(13)	—	(2)			—	
合計	売上高	2,633	OPM	2363	OPM	270	11.4%	OPM	203	8.6%
	営業利益	254	9.7%	219	9.3%	35	15.9%	0.4pt 改善	14	6.5%

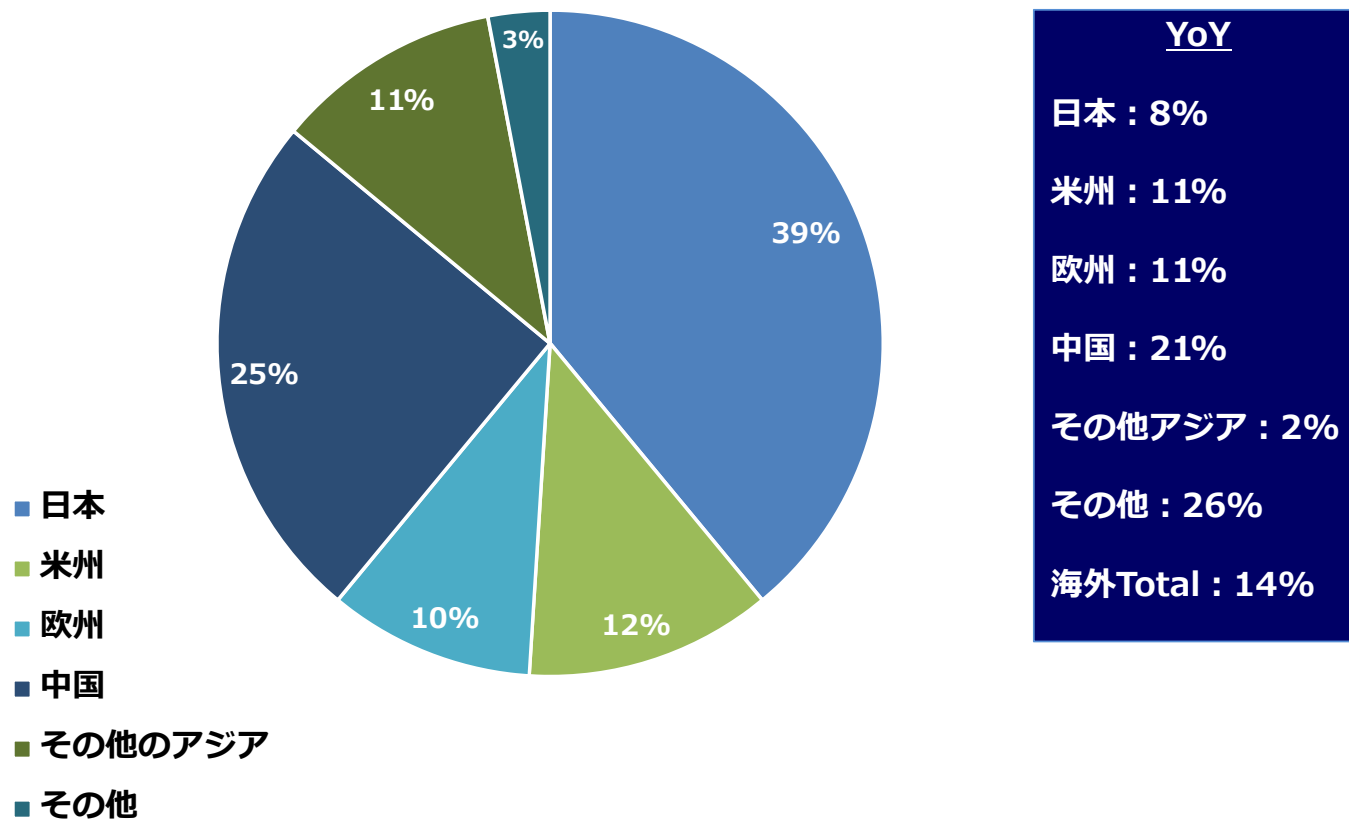
※営業利益の「為替影響額」「除く為替影響」には、たな卸資産未実現利益の消去額を含む。

補足資料[4月-12月 9ヶ月累計] 3/6 : 地域別売上高

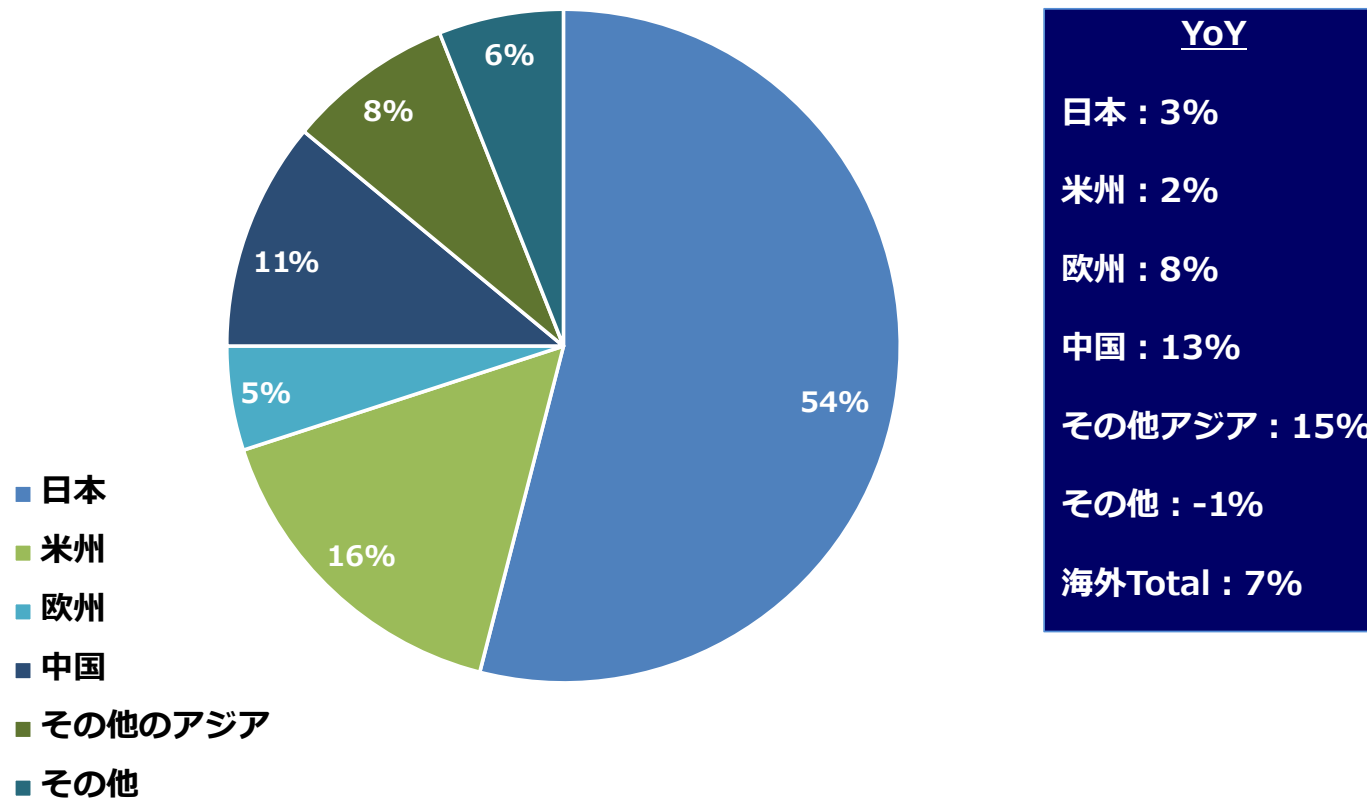
単位：億円	4月-12月		前年同比増減		
	2018.3期	2017.3期	円ベース		除く為替影響
日本	1,244	1,147	97	8.5%	8.4%
米州	344	313	32	10.2%	5.5%
北米	304	279	25	8.9%	4.2%
欧州	198	178	21	11.7%	3.4%
中国	521	412	109	26.5%	21.0%
その他のアジア	248	244	4	1.7%	-2.4%
その他*	77	70	7	9.8%	4.0%
合計	2,633	2,363	270	11.4%	8.6%
海外売上高	1,389	1,216	173	14.2%	8.8%
海外売上高比率	53%	51%			

* 「その他」：オーストラリア・中近東・アフリカ

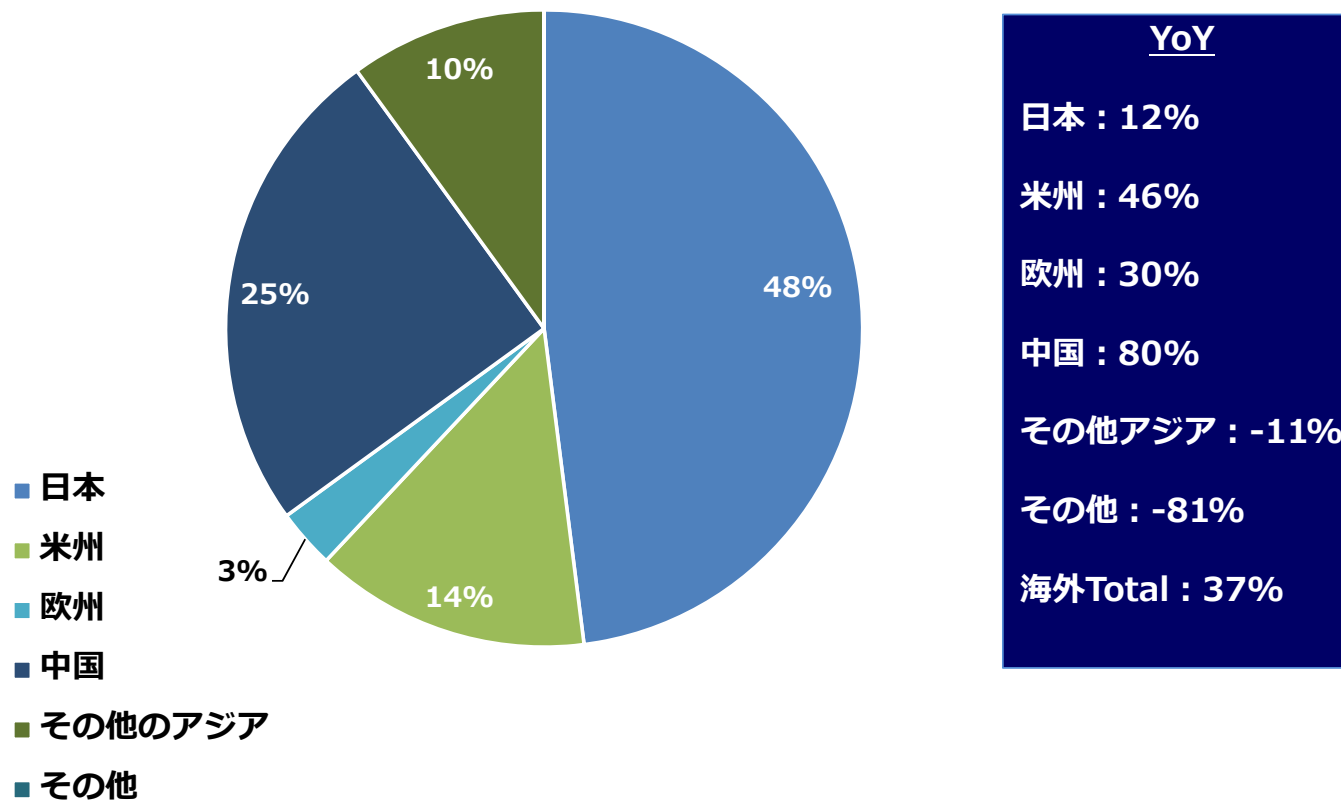
補足資料[4月-12月 9ヶ月累計] 4/6：計測機器地域別売上構成



補足資料[4月-12月 9ヶ月累計] 5/6：医用機器地域別売上構成



補足資料[4月-12月 9ヶ月累計] 6/6：産業機器地域別売上構成





本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。